

## 企業ミュージアム

企業ミュージアムと呼ばれる施設は、いまでは全国に数多く存在している。そのなかには、企業が事業活動をするテーマや、自社の歴史、技術について展示する、いわゆる産業博物館といえるものも少なくない。鉄道博物館（JR東日本・さいたま市）、TOTOミュージアム（TOTO・北九州市）、東芝未来科学館（東芝・川崎市）などなど、地域の観光スポットとなっているところもあるほどだ。

産業の歴史や代表的な商品をただ展示するだけでなく、来場者が楽しみながら、見て、体験して、学ぶことができるプログラムを用意している施設も多く、親子連れなどに人気のもうなずける。

そんな企業ミュージアムの1つが、名古屋駅からほど近い場所にあるトヨタ産業技術記念館だ。ここは旧豊田紡績の本社工場跡地で、トヨタグループ発祥の地でもある。

いまでこそ世界的な自動車メーカーとなっているトヨタだが、かつては近代日本発展の推進力となった繊維産業の中核企業であった。そうした歴史と紡織の技術を知ることができる繊維機械館

と、自動車産業創成期から開発技術、生産技術の変遷を知ることができる自動車館の2つの展示スペースで構成されている。大正時代のレンガ造りの工場を保存・活用しているだけに、そのスペースは広大だ。

創業者・豊田佐吉、車づくりへと舵をきった豊田喜一郎をはじめとする豊田家の人びとの挑戦の歴史を、実際に使われていた機械を見ながら振り返るのだが、そういった織物や車づくりの古い機械が実際に動くところを見て、モノづくりの流れを体験できるところが大きな魅力であろう。自動車の開発や生産技術の流れまで網羅しており、子どもたちだけでなく、大人も十分に学びがあり、楽しめる。あるサイトの工場見学・社会科見学の人気ランキングで1位となったことがあるのも納得できるミュージアムとなっている。

モノづくり技術や人材の伝承は、わが国の大きな課題だ。現在、国立の産業博物館がいまだに整備されていない現状では、こうした企業博物館が、モノづくりを次の世代へと繋いでいく役目も担っているといえるだろう。

（編集室 心齋）

日本能率協会は1942年に生産能率増進を図るという産業界の要請に基づき、創立されました。創立趣意に基づいて「ひろく全産業にわたる総合的能率増進を推進すること」を目的として活動しています。

能率とは、単に効率を高めることではなく、経営資源のもつ能力や性能、機能、特性をそれぞれ活かすことを追求するマネジメントを表します。

JMA マネジメント  
2018年1月号 (Vol.6 No.1)

発行人 中村正己  
編集人 清水保孝  
発行所 一般社団法人 日本能率協会  
『JMA マネジメント』編集室  
〒105-8522  
東京都港区芝公園3-1-22  
日本能率協会ビル  
TEL 03-3434-8620  
E-mail edit@jma.or.jp  
Web http://www.jma.or.jp  
定 価 本体926円+税

本誌に掲載された寄稿やインタビューなどにおける発言は、必ずしも小会の見解を表明しているわけではありません。  
©一般社団法人 日本能率協会  
本誌の無断転載を禁じます。

本部(東京)	TEL 03-3434-8620
関西オフィス	TEL 06-4797-2050
中部オフィス	TEL 052-581-3271

グループ会社・団体  
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会  
..... TEL 03-5288-5001  
公益社団法人 企業情報化協会  
..... TEL 03-3434-6677  
公益社団法人 日本工業英語協会  
..... TEL 03-3434-2350  
株式会社 日本能率協会コンサルティング  
..... TEL 03-4531-4300  
株式会社 ジェーエムエーシステムズ  
..... TEL 03-3431-7401  
株式会社 日本能率協会総合研究所  
..... TEL 03-3434-6282  
株式会社 日本能率協会マネジメントセンター  
..... TEL 03-6362-4800  
株式会社 JMAホールディングス  
..... TEL 03-3436-4304